

新潟市における事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和元年度実績	令和元年度実績を踏まえた課題	令和2年度計画
介護職員等キャリアアップ支援事業	介護サービス事業を行う法人が、介護職員等に対する研修や、資格取得に係る経費などを法人が負担した場合、市が補助金を交付することで介護人材育成・確保を支援するもの。(補助対象経費総額の2分の1以内、10万円上限)	通年	助成件数:27件	新型コロナウイルスの影響もあり、キャリアアップ支援事業費補助金の助成金額数が減少した。2020年度は、多くの事業所が事業を活用できるよう、周知体制を強化する。	助成件数:30件
介護施設見学会	介護職に興味がある人を対象に、ハローワークと共同でバスを出し、市内特別養護老人ホームへの介護施設見学会を年間10回実施。職員の生の声を聞いたり、現場職員の介護技術を体験したりすることで、介護現場を知ってもらい、就職につなげてもらう。	通年	実施回数:9回 参加人数:延べ146人	新型コロナウイルスの影響もあり、介護施設見学会の実施回数が減少した。2020年度は、多くの人が見学会に参加できるよう、周知体制を強化する。	実施回数:10回 参加人数:延べ180人
医療・介護の出前学習	介護事業所で勤務する職員に協力を募り、小・中学校、高校で介護の魅力発信をすることで、介護職のイメージアップ・理解促進を図る。地域医療推進課と共同実施。	5月～翌年3月	—	—	訪問件数:20校
新潟市介護人材確保対策協議会	介護人材の確保に向けて、関係者(事業者・養成校・行政)が現状課題の抽出や対応策の可能性について協議することにより、それぞれの役割や取り組むべきことを確認し、それを実現していくための具体的な方向性を見出すことを目的とする会議。	通年	開催回数:2回	—	開催回数:3回

介護サービス事業所における事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和元年度実績	令和元年度実績を踏まえた課題	令和2年度計画
<p style="text-align: center;">処遇改善加算の取得</p>	<p>処遇改善加算及び特定処遇改善加算を取得することで、介護職員の処遇を改善するとともに、キャリアパスや職場環境の整備に努めていることを対外的にアピールする。</p>	<p style="text-align: center;">通年</p>	<p style="text-align: center;">処遇改善加算取得率： 特定処遇改善加算取得率：</p>		
<p style="text-align: center;">外国人介護人材の受け入れ数</p>	<p>外国人介護人材の受け入れるにあたり、文化や宗教、慣習などに対する理解を深めることも重要であるため、事業所全体で情報を共有するとともに、日本語研修や介護技術向上のための研修を充実させるなど外国人人材がなじみやすい環境を整える。さらに、他の外国人介護職員に指導・助言する役割や、施設・事業所に定着するロールモデルになっている職員のように、リーダー的職員の育成を行う。</p>	<p style="text-align: center;">通年</p>	<p style="text-align: center;">外国人介護職員の人数：</p>		
<p style="text-align: center;">離職した介護福祉士等の届出件数</p>	<p>社会福祉事業等に従事している介護福祉士等が離職した場合、住所、氏名などの情報を都道府県福祉人材センターに届け出ることが努力義務になっている。届出が増えることで、就職の斡旋・復職研修など、ニーズに応じたきめ細やかな対応を実施している。</p>	<p style="text-align: center;">通年</p>	<p style="text-align: center;">届出件数：</p>		

新潟医療福祉カレッジにおける事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和元年度実績	令和元年度実績を踏まえた課題	令和2年度計画
高校への介護体験の実施	進路相談企業を通じて高校生へ介護の仕事体験・専門学校の魅力などを発信する	通年	6回開催	高校生で介護希望者が減少傾向にあり、呼ばれる機会が減少している	コロナの影響でほとんど呼ばれていない
小学校中学校の学校訪問(介護)の受け入れ	小学校・中学校の高等教育体験として訪問を受け入れている	通年	11校受け入れ	小学校、中学までは見学に来てくれるが、その後高校になると見学が激減する傾向がある	コロナの影響かほとんど依頼がない
就職ガイダンス・キャリア教育	現場の職員に学校にきてもらい授業を行う、介護実習や体験などキャリア教育を行っている。就職時には就職ガイダンスも実施している。	通年	キャリア教育は月1程度 ガイダンスは5月に実施	在校生でも介護に就職しない学生も出てくることもある。キャリア教育を在学中に充実させ、介護の魅力を発信していく必要もある	キャリア教育は月1程度 ガイダンスは5月に実施
外部向けに実務者研修や各種研修を開催	卒業生また、一般介護職員に対して、通学部ではない部署が開催している。	通年	実務者研修 8コース スキルアップ研修 12研修	実務者研修の希望者は年々減少傾向である。	コロナの影響で研修は中止をしている

国際こども・福祉カレッジにおける事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和元年度実績	令和元年度実績を踏まえた課題	令和2年度計画
ガイダンス参加	・事務局との連携により、トーク内容を精査	通年	参加数 56件	2月以降コロナ禍の影響で、ガイダンスの件数が激減	依頼があった場合参加予定
HP	・事務局が中心となり、教務方針をアピール	通年	—		
高校訪問	・パンフ・募集要項・指定校案内等を持参	5月・9月12月	訪問件数 43校	2月以降コロナ禍の影響で、高校訪問を中止した	県内高校、近隣高校訪問を実施予定

新潟医療福祉大学における事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和元年度実績	令和元年度実績を踏まえた課題	令和2年度計画
「介護の日 県民の集い」参加	「福祉・介護・健康フェア2019in新潟」(介護の日 県民の集い)におけるリーフレット・写真・ポスター等の掲示	11月	開催回数1回	各養成校からの学生の積極的参加	参加(1回)
中学校での介護体験等の実施	介護福祉コースの学生が中学生に対して高齢者の疑似体験やゲームを行い、福祉や介護を楽しく学ぶ機会を提供する。	4月	開催回数1回	他の中学校で実施できる機会の情報把握	実施(2回)
社会福祉学部「求人説明会」の開催	県内の主な社会福祉法人等が社会福祉学部3・4年生に対して求人説明を行う。	5月	開催回数1回	学生の理解度の向上。	実施(1回)
「就職セミナー・ガイダンス」の開催	社会福祉学部3・4年生に対する就職支援	通年	3年生に4回、4年生に対して3回程度実施	より具体的な内容の説明と学生の理解度の向上	実施(7回程度)

新潟青陵大学における事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和元年度実績	令和元年度実績を踏まえた課題	令和2年度計画
新潟青陵大学・短期大学部 合同企業フェア	県内の企業及び社会福祉法人に参加を呼びかけ、学生に多くの企業・社会福祉法人に触れ、視野を広げて学生にとって一番向いている業界を見つけることを目的に開催。	毎年2月ころ	1回 企業・社会福祉法人66社(うち社会福祉法人5法人)が参加 学生:大学61名(うち社会福祉学科36名)、短大172名(うち介護福祉コース16名)	3密の防止などコロナ対策を十分に行いつつ、学生や企業や社会福祉法人等を知る機会を確保したい。	2021年2月開催予定(参加企業未定)
看護職&介護職の就労支援講習会 —高齢者ケアの学びなおし—	看護職・介護職で、高齢者ケアや高齢者施設での就労に興味・関心のある方を対象としての講習会。老人介護施設で働く看護職は、学習希望がありながら現場の業務に追われ、なかなか学習機会に恵まれないという現状が分かってきた。看護の質を高めるための講習会実施の要望も聞かれたことから、2019年度からは看護職のみならず、老人介護施設で働く介護職にも呼びかけて、看護職と介護職が共に学べる内容として実施した。	2～3月	【第1回】2月22日(土):定員30名 テーマ「高齢者ケアにおける看護職・介護職の役割」 参加者:介護職:9名、看護職:7名、その他4名、不明:3名 参加者数合計:23名 【第2回】2月29日(土):定員16名 テーマ「高齢者の生活支援のための技術演習」 申込者:介護職13名、看護職3名、その他:2名、不明3名 申込者数合計:21名 ※第2回の講習会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で開催中止となった。	・申し込み開始時、参加者が思うように集まらず集客に苦労したため、次回以降は広報活動を徹底していきたい。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催中止とする。
介護職員初任者研修課程	研修内容を修得することにより、高齢者(障害者)への理解を深め、福祉サービスに関する知識や実践的な介護技術を身につけ、介護職員としての役割を果たすことができるようになる。また福祉サービスを提供する職業を選択することや、社会福祉施設等におけるボランティア活動、社会福祉士及び精神保健福祉士の実習などに役立てることができる。	毎年5～7月 ※2020年度のみ10～12月実施	【募集人員】 大学生12人 ※これ以上の申込があった場合には抽選を行う。 【申込】 大学生 7人 【資格取得】 大学生 6人(1人辞退)	受講者数の減少傾向 H29実績 大学生17人 H30実績 大学生 3人 R1実績 大学生7人 R2実績 大学生3人	令和2年度は、例年前期開催だったが対面授業の全面中止という本学の方針により、後期開催で実施中。開講期の変更もあり、受講者数が特に少ない結果となった。